

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		都市公園整備事業（都市構造再編集集中支援事業）						予算事業名		都市公園整備事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	都市再生特別措置法 都市計画法				
			08	03	05	2501	経常経費		都市公園法				
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう							事業の区分	主要事業				
	コンパクトで魅力あるまちづくり												
	公園・緑地の整備・充実							担当課係等	都市計画課				
								住宅公園係					
事業期間		継続 （令和 2年度～令和11年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
・老朽化した南部中央公園及び浦町児童公園を整備することにより、利用者に安全で安心な公園を提供する。 ・市民の愛着がわく公園づくりを目指す。							・結城駅周辺地区都市再生整備計画事業による公園環境整備 ・土地区画整理事業区域内の公園整備であり、区画整理事業の進捗に合わせて計画的に実施する。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
都市構造再編集集中支援事業 ※現計画（R2～R6） ・浦町児童公園トイレ改築事業 ・南部中央公園改修工事 噴水広場改修工事 園路改修工事 多目的広場改修工事 遊具広場改修工事 トイレ改築工事 ※次期計画（R7～R11） R7 四ツ京1号公園実施設計業務委託 R8 四ツ京1号公園整備工事							地域住民及び公園利用者						
							【事業をとりまく環境の変化】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響後、公園のあり方、意義が見直され、公園機能の充実が注目されている。 ・市民からの要望も、一般的な街区公園の公園施設を整備した公園ではなく、遊び方や過ごし方、使い方に特徴のある公園整備が求められている。						
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】					
四ツ京1号公園実施設計業務委託 ・地元調整				四ツ京1号公園整備工事				仮）南部第二54-1街区公園実施設計業務委託 ・地元調整					
■事業費													
				R05年度		R06年度							
財源内訳	国	庫	支	出	金	0	32,067						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	28,800						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	0	11,550						
歳入計（千円）				0		72,417							
歳出内訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）						
	14 工事請負費				0		72,417						
歳出計（千円）（A）				0		72,417							
伸び率（％）						皆増							
備考	総合計画 65 ページ 予算書 148 ページ												

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	南部中央公園公園改修工事の発注	箇所	目標	1.00	0.00	0.00
	※着手はR6（R5繰越）		実績	1.00	0.00	0.00
	公園の設計に伴う地元調整	式	目標	0.00	0.00	1.00
	対象：四ツ京1号公園		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	南部中央公園改修率	%	目標	100.00	100.00	0.00
			実績	36.20	0.00	0.00
	公園の実施設計書作成	式	目標	0.00	0.00	1.00
	対象：四ツ京1号公園		実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	現計画の浦町児童公園や南部中央公園はともに各種イベントに利用されるなど、重要な施設として適切な整備が必要である。 また、次期計画の対象となる2公園は、区画整理事業の進捗に伴う居住者も増えつつある
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市で設置及び管理する都市公園であり、市が実施主体となることは妥当と考える。
	手段の妥当性	A 妥当である	国の定める都市構造再編集中支援事業（旧都市再生整備計画）に沿う事業として計画した。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	国の交付金や市債などの計画を立てて活用した。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民誰もが利用できる都市施設である。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	2公園（浦町児童、南部中央）とも各種イベント等に利用されることも多く、改修により来園者に対して利便性向上が図れている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	都市再生整備計画事業→都市構造再編集中支援事業として計画を見直し、順調に進捗している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
当該事業計画により公園施設のバリアフリー化、一部リニューアルが進められ、公園機能の向上による利便性が高まった。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
整備後の適切な維持管理を行い、また、公園施設長寿命化によるライフサイクルコストの削減を目指しつつ、他の公園施設についてもバリアフリー化を進め、公園利用者の満足度を高めていきたい。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 次期「都市構造再編集中支援事業（令和7年～11年度）」で土地区画整理地内の公園建設を計画する。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	